

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月6日

【児童発達支援】

事業所名：アナベルキッズ

保護者等数（児童数） 21人 回収数 21人 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1		・専門性もそうですが、スタッフの方々が穏やかに関わり合い、性格が辛抱強くないと、特性の強い子どもとの関わりはとても難しいと思います。いつもありがとうございます。 ・職員の方の人数やどのような専門があるのか分からないため	・ご意見ありがとうございます。職員配置については、指定基準に基づき必要な資格職等の配置を行っておりますが、保護者への周知については不十分であるため、ウェブサイトやHUGシステム活用し、情報の見える化に努めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか ※「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。	21				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21				
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。※「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。	21				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21				
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。 ※「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。	21			・家ではできない事にバランスよく沢山取り組ませてもらい、とても良いです。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、お子様や保護者様にとって魅力的な活動となるよう努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21				
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。※「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。	18	3			・ご意見ありがとうございます。感染症等の状況も考慮しながら講演会や講習会等、テーマに基づいて実施して参ります。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21				
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1		・こちらからも聞きやすい雰囲気なのでありがたいです。	・モニタリング等、定期的面談以外にも保護者のご希望に応じて引き続きご対応してまいります。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	9	10	・時間の余裕がないため、保護者会など無くておしろホッとしている。 ・特にそこまでしなくても良い気がします。	・ご意見ありがとうございます。保護者の皆様のご意見も伺いながら保護者会等、交流できる場も必要に際して検討させていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21				
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21				
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	1			・引き続きウェブサイト等、様々な媒体を通して情報の見える化に努めてまいります。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21				
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	5	1		・ウェブサイト等を通じてマニュアル等の周知が可能となるよう改良を行ってまいります。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	6			・法令に基づき必要な訓練は実施しておりますが、保護者への周知等に不十分な点が見られているため、HUGシステムを活用し、訓練結果等をご連絡してまいります。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	21			・保育園ではダラダラしていてもアナベルのお迎えだよという急にシャキンとするそうです笑 ・とても楽しみにしています。 ・毎回とても楽しみに通所しております。	・多くのご意見ありがとうございます。引き続きお子様や保護者の皆様にとってアナベルキッズが楽しく、大切な場所となれるようスタッフ一同努めてまいります。
	22	事業所の支援に満足しているか	21			・もっと運動系を取り入れてもいいと思います。スタッフの方々は大変かもしれませんが… ・いつも丁寧な支援をありがとうございます。いつか放デイでの利用が叶うと嬉しいです。 ・日頃の支援だけでなく、進学に当たっての相談支援もして頂き本当に感謝しております。 ・いつもお世話になります。毎回楽しみに通っています。 ・これからよろしくお願い致します。	・多くのご意見ありがとうございます。スタッフ一同、一人ひとりのお子様の日々の成長を保護者の皆様と共感しながら丁寧な支援を引き続き心がけてまいります。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

【児童発達支援】

公表：2024年2月6日

事業所名：アナベルキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数に対し、十分なスペースを確保し、支援している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・指定基準に基づいた職員配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・利用児の状況に応じて絵カードを活用するなど、視覚的情報を適度に取り入れるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・小まめな清掃や換気を徹底し、清潔な環境づくりに努めている。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・支援内容に対し、反省や目標を掲げ、振り返りや見直しを逐次行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・結果を踏まえて逐次業務改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・結果については、Lineworks等で職員間の共有を図り、改善内容については、ホームページへ掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今後、検討予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・伝達研修、支援実施後のOJT等実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを実施し、こどもの様子や保護者のニーズを分析した上で児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通したアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・プログラム立案者が主体となり、多くの意見を取り入れながら内容を検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節に応じた活動の取り入れ等、利用児の現状に応じて活動内容を工夫している。 ・固定化されないよう活動終了後、振り返りをし次の活動に反映している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々の課題に応じて、個別支援計画を作成、活動を提供している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動案を作成し、共通理解を図りながら利用児の現状や活動内容についてミーティングを行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後、支援内容や利用児の行動について職員間で共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・HUGシステムを使い、毎活動終了後に保護者へお知らせし、また個別のケース記録を残すことを徹底している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的にモニタリングを実施している。
関係機関や保護者との連携関係	21	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・管理者兼児童発達支援管理責任者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・利用希望者の事業所見学时に担当保健師の同席等、要請に応じて対応している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現時点で対象利用児はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・現時点で対象利用児はいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・利用児童が通園している保育園、幼稚園とも連携しており、保護者の承諾を得て、必要な情報共有、情報交換を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・就学教員相談時の情報提供等、個々のニーズに基づいた対応をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・利用児個々のニーズに応じて関係機関と情報共有を行い、助言等を受けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・必要に応じて参加予定。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・HUGシステムを活用し、日々のこどもの様子を写真と文章を交えた報告や送迎時に日々の様子を伝達するなど、工夫している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・保護者の意見等も踏まえながら開催を検討する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・契約時に丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどして都度助言や支援をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・保護者の意見等も踏まえながら開催を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・迅速、適切な対応を心掛けている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・会報は発行していないが、HUGシステム内で月間活動予定の公表や日々の活動の様子を保護者へお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報の取り扱いには十分配慮している。
	39	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・福山保全隊、地域の有識者の協力をいただき、野菜の収穫体験等、地域資源を活用した事業運営を行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・契約時の説明で対応している。閲覧に関しては配慮不足があるため、ウェブ等活用し閲覧に供することができるよう内容を検討していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・絵本による災害学習や避難場所の経路確認訓練を実施した。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・発生の都度作成し、職員間で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・県社会福祉社会の開催する研修会に管理者が参加し、その後、各職員へ伝達研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束は行っていない。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）